

博物館だより

志摩歴史資料館 冬季企画展

開催中

ツノゼミと世界の昆虫展

九州大学総合研究博物館巡回展 ● 1月30日(日)まで

志摩歴史資料館では、九州大学総合研究博物館との合同企画として、世界の珍しい昆虫を紹介する企画展を開催しています。

「ツノゼミ」と呼ばれる装飾性に富んだ昆虫をはじめ、鳥山邦夫さん(長崎県在住)が採集したコーカサスオオカブトなど、貴重な標本を見ることが出来ます。

1月の催しもの案内

■名譽館長講座
シルクロードの考古学

日時 1月16日(日) 14時

内容 「タイの仏教遺跡と陶磁器」

講師 西谷正名誉館長

定員 100人(先着順、要申し込み)

受講料 200円(資料代)



珍しい昆虫がいっぱいです

■飛び出せ博物館
深江駅家と伝統行事
大飯食らい

日時 1月23日(日) 10時

内容 「深江駅家と伝統行事大飯食らい」の見学

集合場所 深江公民館

案内人 古川秀幸(博物館学芸員)

定員 30人(先着順、要申し込み)

受講料 200円(資料代)

■博物館講座「伊都学」
糸島の国指定文化財を中心に

日時 1月29日(土) 14時

内容 第7回「国宝 内行花文鏡」超大型鏡の諸問題」

講師 柳田康雄氏(國學院大學教授)

定員 100人(先着順、要申し込み)

受講料 200円(資料代)

申し込み・問い合わせ
伊都国歴史博物館
☎(322)7083

開館時間 10時から17時まで
※入館は16時30分まで
休館日 毎週月曜日、年末年始
※月曜日が祝日の場合は翌日。

聴かせてくださいあなたの意見

糸島市農力を育む基本計画

市は、糸島市の食料、農業、農村の持つ力(農力)を、市民と農業者、農業団体、食品産業の事業者、行政が協働しな

から育み、次の世代に引き継いでいくために、平成22年1月に「糸島市農力を育む基本条例」を制定しました。



みんなの力で糸島の「農力」を育み、次世代に引き継いでいこう

この条例に基づいて、市民や農業者、九州大学、各種関係団体などで構成する「農力を育む市民推進会議」を設置し「糸島市農力を育む基本計画」の策定を進めています。

提出先・問い合わせ
糸島市農業振興課
糸島市二丈深江1360
☎(322)2087
FAX(325)0179
E-mail nogyoshiko@city.itoshima.lg.jp

設置場所・市ホームページにある所定の用紙に住所・氏名・連絡先、ご意見を記入し、持参または郵送・FAX・メールのいずれかの方法で提出ください。

※住所・氏名・連絡先が未記入のものは、無効です。

地産地消コーナー

糸島まるかじり通信

ここにあるよ直売所

市内には、たくさんの農畜産物直売所があり、糸島の恵みである農畜産物をみなさんに提供しています。ぜひ一度足を運んでみてください。

緑の農園直売所にぎやかな春

「食は命なり」。店内に入ると目に飛び込んでくる「にぎやかな春」の想い。自分たちがそうだから、みなさんにも「安心して食べられる物を提供したい」。

ぎやかな春。ぜひ一度足を運んでみてください。

営業時間 9時30分から17時まで(年始は休業)

場所 糸島市志摩桜井5250

問い合わせ ☎(329)4800

得 おすすめ情報

その① 野菜のカラーシール 農産物の袋を良く見てください。赤や黄、青といった5色のシールが貼ってあります。

これは、農薬や肥料などの使用を一目で消費

者のみなさんに知っていただくよう始めたもの。まさに「安心して食べられる物にこだわる」からこそです。

その③ 卵かけご飯 自慢の卵「つまんでご卵」をその場で、卵かけご飯にして食べることが出来ます。弾力のある黄身と白身は、ご飯とともにあつという間に、口の中に流れ込んでいきます。

その② 万(まん)歩(ぽ)鶏(けい) 卵ばかりじゃないんです。実は、お肉も凄いです。『つまんでご卵』を生み出す鶏。その名も『万歩鶏』。

1日1万歩ほど歩いているというその鶏は、自然に近い環境で地面で育った本物の地鶏です。臭みがなく歯応えがある昔ながらの肉の味をお試しください。

その④ つまんでご卵ケーキ工房 「にぎやかな春」の斜め向かいに立つケーキ工房。「にぎやかな春」の商品たちが「ケーキ屋をはじめようよ」と呼びかけたような気がしてオープンしたとか。



安心の「食」をみなさんに提供しています

本来の製法で作られた材料で作るケーキは、素朴でおいしい味です。ケーキ工房も「のぞいてもらん」。

